

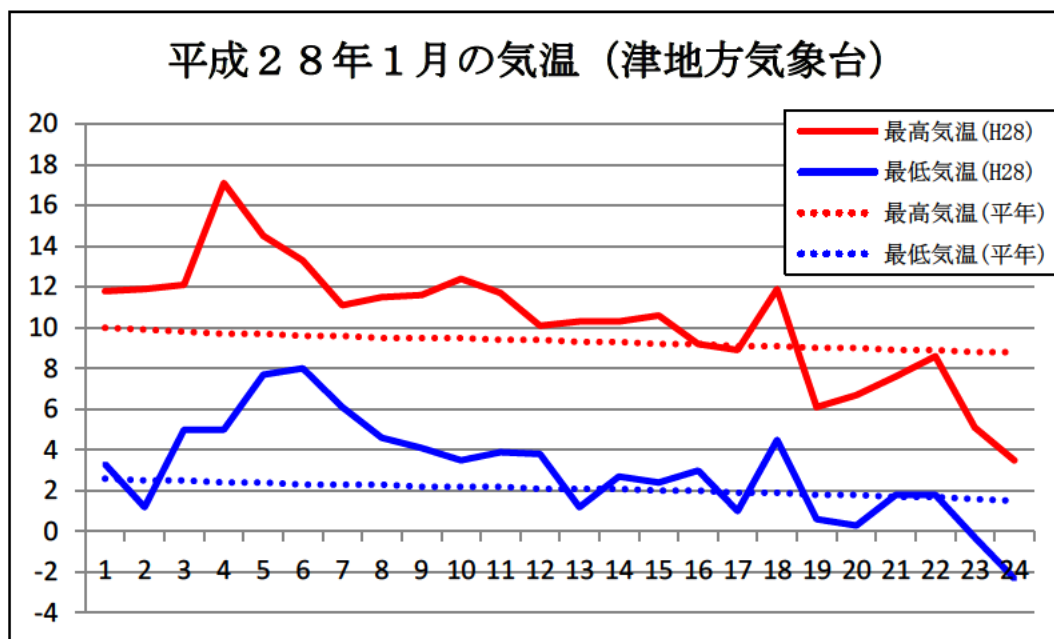
津麦ニュース 平成28年産 第2報(緊急版)

平成 28 年1月 25日 発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5121

急激に気温が低下しました 低温対策を徹底しましょう

<気温>

1月19日以降、平年を下回る低温傾向が続いています。1/23、24は最低気温が氷点下となりました。



<今後の対策>

○ 注意点

幼穂の凍霜害

生育が早いほ場ではすでに幼穂が形成されています。小麦は、幼穂 3mm の頃 -2°C 以下、20mm では 0°C 以下で幼穂が凍死するといわれています (幼穂が大きいほど低温の影響を受けやすくなります)。幼穂が凍死すると、不稔になり減収につながる恐れがあります。

○ 追肥

追肥により、小麦の凍霜害による減収を抑えることができるという報告があります。
追肥量は窒素 $3\text{kg}/10\text{a}$ です。